

深川東京モダン館だより

fukagawa tokyo modankan news

主催

企画展 谷口雅之展～ Alaska

8月17日(火)～8月22日(日)

谷口雅之さんの油彩画作品を展示します 入場無料



主催

共催 アトリエライブハウス

企画展 アウトサイダーアートの方向 —Westerly winds from Osaka—

8月24日(火)～9月5日(日) ※24(火)は13時から、最終日は14時まで
※30日(月)は休館日

入場無料

大阪の障がい者生活介護事業所「アトリエライブハウス」のアーティストによるグループ展

8月のカレンダー



Gaius Julius Caesar
Octavianus Augustus

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 休館日	3	4	5	6	7	8
9	10 休館日	11	12	13	14	15
16 休館日	17	18	19	20	21	22
23 休館日	24	25	26	27	28	29
30 休館日	31					

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

●お客様へのお願い

- 次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- 催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

東京市深川食堂が出来た年 - その② -

前号からこの建物が出来た昭和 7 年 (1932) の江東区域について振り返っています。モダン館の建物である「旧東京市深川食堂」は、東京市社会局により設置されたものですが、この社会局とはどのような組織であったのでしょうか。

東京市社会局は、大正 8 年 (1919) 12 月に設置されました。この組織は、明治 5 年 (1872) に創立した東京市養育院や病院、職業紹介所など^{きやうみん}窮民の救恤^{きゅうじゆつ}を目的とする事業をとりまとめる組織です。前年の米騒動を受け、緊急に社会施策を打ち出していかなければならなかったことがその要因です。市営食堂以外には公設市場・市営住宅・簡易宿泊所・託児所・質屋・浴場などの施設がありました。昭和 7 年の『東京市社会局年報』によれば、深川・田町の両食堂が開業したことで市営食堂は 18 ケ所となったものの、引き続く不況と大衆食堂が増えたことで事業収入が減少したと記され



あそか病院
『本派本願寺
社会事業便覧』5号
昭和6年(1931)より

ています。日本経済は、第一次世界大戦時の好景気が大正 12 年 (1923) の関東大震災を経て一変、昭和 4 年 (1929) からの世界的な恐慌の影響も受け、長い不況のトンネルのまっただ中であり、社会事業の重要性は東京市当局も強く認識していました。

このような社会事業は、東京市だけでなくさまざまな担い手によって設置されています。例えば、明治 44 年 (1911)、西平野町 (現平野 1) に設置された浄土宗労働共済会^{かいきき}は、ドイツ留学を経験した浄土宗僧侶渡辺海旭^{かいきく}によって立ち上げられ、隣保事業や職業紹介、幼児教育といった事業を行っていました。また昭和 5 年 (1930) には、猿江裏町 (現住吉 1) にあそか病院が開院します。これは関東大震災後に築地本願寺が日比谷などに救護所を設け、その後西本願寺法主大谷光尊^{おおたに こうそん}の二女九条武子^{くじょう たけこ}の詩集『無憂華』^{むゆうげ}の印税を基金として誕生しました。ちなみに「あそか」の名称は、無憂華のサンスクリット語「アショカ」からつけられました。そして、同年には塩崎町 (現塩浜 2) に社会事業家小坂芳春によって、天照園が設置されました。これは猿江恩賜公園となる場所にテントで収容されていた罹災者たちを収容したもので、共同宿泊所や託児所、公衆食堂といった施設が作られています。昭和 7 年 4 月、満州に農業移民実習所を立ち上げ、6 月には天照園の 41 名が入植のため渡航、翌 8 年には満州天照村が開設されました。

(深川東京モダン館 龍澤 潤)

昭和7年(1932)のおもなできごとと江東区域(5～8月)

月	日	できごと
5	15	首相犬養毅が青年将校に暗殺される(5・15事件)
6	18	深川区塩崎町の失業者収容所天照園の41名が満州入植に出発
7	5	東京大学地震研究所の宮部直巳助手が「深川方面における土地の沈降について」の講演を行う
7	24	清澄遊園が一般開放され、清澄庭園と改められる
7	30	臨海小学校の大プール落成式が挙行
8	1	深川区内の町名変更で清澄町1～3丁目・白河町1～4丁目・三好町1～4丁目・平野町1～4丁目が設けられる
8	2	東京ガス(株)深川ガス製造所のタンクに10名の職工が立てこもる

※吉原健一郎・大濱徹也編『増補版江戸東京年表』(小学館 2002)、『櫻東新聞』、朝日・読売・毎日の各新聞縮刷版から作成した。

江戸とのつながり



戦に明け暮れた戦国の世から、徳川家康によって天下が平定され、まず第一に着手しなければならなかったのは、武家の棟梁としての拠点づくりであった。幾つかの候補地から、海運に恵まれた江戸湊を基点として、機械動力のない時代、水運を活用することに着目し、比較的平坦な東部地区の活用が計画された。まず戦略的価値が高い塩を確保するため小名木川が開削され、関東を二分する利根川と鬼怒川を連結し、下総銚子へ付替え、海へは江戸川で結んだ。さらに水路を物流の大動脈とするための、大横川、竪川、仙台堀川等が整備された。同時に江戸城、掘割、政務を司る御殿、大名や徳川家臣団の武家地造成や敷地割が將軍の威光をもって、天下普請として展開された。幕府の統治機構も権力と戦力を分離するため、トップの老中職は徳川家草創の家臣から大名になった譜代が任ぜられた。多数の武士団と広大な領地をもつ大々名の多くは江戸から比較的遠隔地に配置された。全国の著名な鉱山は幕府の直轄となり、代官や奉行等のもとに治められた。上方には朝廷を監督する京都所司代、大坂には西国大名を監視する役目の大坂城代が配された。

水路とともに、大切な飲み水の補給は小石川上水をはじめ、神田、玉川を主とする水道網が張りめぐられ、それらの築造にあたっては水利権というインセンティブを与えて展開した。諸資源については、とことんリサイクルをはかった。その最たるものは下肥の活用で、人口密集地へ百姓が汲み取りにゆき、持ち帰り、新たに造成された農地へ散布、農業生産力を高めた。衣類、紙、古材木等のゴミは極限まで再利用され、最終的には銭湯の炊き付として処分された。焼け残りの灰も洗濯の浄化剤等に活用されたほど、完璧な循環型の

社会が営まれた。江戸、大坂はいうに及ばず、領国の城下町でもこのシステムは活かされ、かなりの清潔さが維持された。

幕府の初期、改易によって浪人が江戸へ大量に流入し、寺子屋の師匠や医者（当時は医者と勝手に名乗れば、医者として通用した）が増え、彼らが逆に教育や医療の水準を押し上げた。はやり病はあったものの今日のような大規模なパンデミックは稀であった。文化面でも芝居、相撲、遊郭等が隆盛した。板木彫りによる錦絵、読本が廉価、大量に提供され、幕末に入来したヨーロッパの人々も当時の民衆の識字率の高さに驚いたとの記録もある。また花鳥風月の鑑賞、寺社参り、名所めぐりは娯楽の最たるものであった。大名の参勤交代や伊勢参りによって街道は整備され、宿場町も形成された。また江戸文化の地方への伝播や農機具、農業技術の全国的な展開等の副次効果をもたらした。これら数々の江戸の蓄積が、明治維新以来、急速な我国の発展をもたらしたと推測されるのではないだろうか。

読書を楽しみながら、江戸から東京への歴史のつながりについて考えている今日この頃である。



(文と写真 江東区文化観光ガイド 大山 弘)

江東区文化観光ガイドによる**モダン館周辺のまちあるきツアー**（1時間程度、11:00・14:00出発）は**現在中止しております**。再開についてはWEBサイトでお知らせいたします。

www.fukagawatokyo.com

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種（ぬいぐるみ、缶バッジ、マフラータオル ほか）
- ・江東区の名所を描いた絵はがき（水彩・切絵・写真）
- ・ビニール製マスク入れ
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・コースター
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ等

コトミちゃんグッズ



タオルハンカチ600円



ステンレスボトル700円

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）、また夏季限定の「ひやし」5 種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。

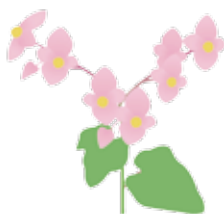


開館日および開館時間

10:00-18:00（金・土曜日は19:00まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）



Begonia grandis

「深川東京モダン館だより」第101号(2021年7月30日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

